

## 公益法人移行第2期(平成29年度) 事業計画

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

公益社団法人知財登録協会 (S I R)

### 1. 活動方針

知財戦略が協会の唱える出願中心から非出願中心 ([オープンからクローズに](#)) 転換され始めた環境を踏まえ、これを先導できる協会基盤作りに着実に取り組む。

### 2. 重点施策

#### (1) 知財に関する調査研究啓発事業 (公益目的事業: 公1)

国民の知財に関する知識・意識の向上並びに知財立国の実現に貢献するために、阪大シンポジウムや協会アドバイザーボードメンバー等を交えた検討結果を踏まえて、本事業の主たる研究テーマを『[知財パラダイムシフト\(知財ブランドモデル実証研究を含む\)](#)』と定めて、今後10年程度をかけて実施する。

- ・ 知財啓発シンポジウムの開催(年1回)。
- ・ 知財経営研究会の開催(年4回程度)。  
(知財経営実態調査及び知財ブランドモデル検証を含む)
- ・ 行政及び大学等公的機関や団体等との共同研究事業の検討。
- ・ 地方における啓発講演会の実施(地方賛同者の組織化を含む)。
- ・ 知財品質等に関するAI(人工知能)応用研究の検討。
- ・ 知財に関する調査研究啓発事業に係わる業務。

#### (2) 知財情報の登録保護活用事業 (その他事業: 他1)

本事業(知財ブランドモデル事業)の普及を図るため、利便性の高いシステムやサービスの改善を行い、事業検証に取り組む。なお、本事業は公益目的事業の一環として位置づけられることから今後公益目的事業への統合を検討する。

- ・ タイムスタンプ自動押印システムの導入。
- ・ 知財登録システムのクラウド化。
- ・ 知財情報等の預かりサービス(知財バンク:オプションサービス)。
- ・ 知財ブランディングサービス(知財保護活用の一環としてのIT利用)。
- ・ 知財相談&コンサルティングサービス(毎月1回程度)。
- ・ 本事業の事業検証並びに改善に係わる業務。

#### (3) 協会財政基盤確立のための活動

会員拡大活動の革新。寄付及び助成金等の獲得活動の促進等。

#### (4) 協会運営体制の強化

理事の改選。協力者(パートナー)の拡充。事務局体制の強化等。

(以上)